

## 愛染橋病院看護部クリニカルラダー

定義	レベル	I	II	III	IV	V
	JNAのレベル定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ <b>助言を得て</b> 看護を実践する	標準的な看護計画に基づき <b>自立して</b> 看護を実践する	ケアの受け手に合う <b>個別的な看護</b> を実践する	<b>幅広い視野で予測的判断</b> をもち看護を実践する	より <b>複雑な状況</b> において、ケアの受け手にとっての <b>最適な手段</b> を選択しQOLを高めるための看護を実践する
到達目標	愛染橋病院看護部	指導や教育のもとで、基本的な看護を安全に実践できる 指導を受けることにより、自己の学習課題を見出すことができる	指導や教育のもとで、標準的な看護を展開し、実践できる 自己の学習課題を見出すことができる	看護実践の場面において個別的な看護を提供できる チームリーダー的役割や責務を認識し、指導のもとで遂行できる 自己の学習課題に向けた学習活動を展開できる	高度な看護活動を実践でき、かつ他者にモデルを示すことができる 自己の学習活動に積極的に取り組むのみならず、指導的役割を発揮できる	論理的かつ実践的知識を統合して卓越した看護を実践し、所属を超えてリーダーシップを発揮できる 自己の学習活動はもとより、組織的な教育・研究活動を主体的に実践できる
看護実践	ニーズをとらえる力	【レベル毎の目標】 指導のもとケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえることができる  【行動目標】 ① 指導のもと、対象者に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ② 指導のもと、対象者の状況から緊急度をとらえることができる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえることができる  ① 自立して対象者に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ② 得られた情報をもとに、対象者の全体像としての課題をとらえることができる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえることができる  ① 個性性を踏まえ、対象者に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ② 得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえることができる  ① 予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ② 意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえたニーズをとらえることができる  ① 複雑な状況を把握し、対象者を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる ② 対象者や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
	ケアする力	【レベル毎の目標】 指導のもと、基本的な看護過程を実践することができる  【行動目標】 ① 指導のもと、看護手順に沿ったケアが実施できる ② 指導のもと、対象者に基本的援助ができる ③ 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	優先順位を考慮して、単独で看護過程を実践できる  ① 対象者の個性性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる ② 対象者に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる ③ 対象者の状況に応じた援助ができる	個々の患者に応じた看護過程を実践できる  ① 対象者の個性性に合わせて、適切なケアを実践できる ② 対象者の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる ③ 対象者の個性性をとらえ、看護実践に反映ができる	知識・技術を応用し、患者・家族に適切な看護実践を提供できる  ① 対象者の顕在的・潜在的ニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる ② 幅広い視野で対象者をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践することができる  ① 対象者の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる ② 複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	協働する力	【レベル毎の目標】 関係者と情報共有ができる  【行動目標】 ① 指導のもと、対象者を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる ② 指導のもと、チームの一員としての役割を理解できる ③ 指導のもと、ケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる ④ 対象者を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる ⑤ 連絡・報告・相談ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる  ① 対象者を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる ② 関係者と密にコミュニケーションをとることができる ③ 看護の展開に必要な関係者を特定できる ④ 看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる  ① 対象者の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる ② 対象者とケアについて意見交換できる ③ 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	ケアの受け手を取り巻く多職種間の調整・連携ができる  ① 対象者がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる ② 多職種間の連携が機能するように調整できる ③ 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かすことができる  ① 複雑な状況(場)の中で見えにくくなっている対象者のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる ② 多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる ③ 関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる ④ 目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる
	意思決定を支える力	【レベル毎の目標】 ケアの受け手や周囲の人々の意向を知ることができる  【行動目標】 ① 指導のもと、対象者の思いや考え、希望を知ることができる	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる  ① 対象者の思いや考え、希望を意図的に確認することができる ② 確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる  ① 対象者の意思決定に必要な情報を提供できる ② 対象者の意向の違いが理解できる ③ 対象者の意向の違いを多職種に代弁できる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる  ① 対象者の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる  ① 適切な資源を積極的に活用し、対象者の意思決定プロセスを支援できる ② 法的および文化的配慮など多方面から対象者を擁護した意思決定プロセスを支援できる

## 愛染橋病院看護部クリニカルラダー

レベル		I	II	III	IV	V	マスターレベル
到達目標	愛染橋病院看護部	指導や教育のもとで、基本的な看護を安全に実践できる指導を受けることにより、自己の学習課題を見出すことができる	指導や教育のもとで、標準的な看護を展開し、実践できる自己の学習課題を見出すことができる	看護実践の場面において個別的な看護を提供できるチームリーダー的役割や責務を認識し、指導のもとで遂行できる自己の学習課題に向けた学習活動を展開できる	高度な看護活動を実践でき、かつ他者にモデルを示すことができる自己の学習活動に積極的に取り組むのみならず、指導的役割を発揮できる	論理的かつ実践的知識を統合して卓越した看護を実践し、所属を超えてリーダーシップを発揮できる自己の学習活動はもとより、組織的な教育・研究活動を主体的に実践できる	組織の定期的な評価や目標を立案し、実践することができる。
	組織役割	病院・看護部の理念・方針を言える 社会人としての基本的な対応ができる	病院・看護部の理念・方針を理解できる	病院・看護部の理念・方針に基づいた、自己の課題を明確にできる	病院・看護部の理念・方針に基づいた、自己の課題に向けた行動ができる 看護部の委員会活動に参加し、自己の役割が果たせる	管理者と協働しながら、病院・看護部の理念・方針に基づいた部署運営ができる	看護部運営の課題を提言し、看護部方針に基づき部署の運営ができる 病院経営の課題を提案し、病院経営に参画することができる
組織役割遂行	協働	部署目標を理解し、指導のもとチームの一員として行動できる	部署目標を理解し、自らチームの一員として行動できる	部署目標達成に向け、チームリーダーとして積極的に行動できる	部署目標における自身の役割を理解できる 部署目標達成のためにリーダーシップを発揮し、その行動をスタッフと共有できる 部署の課題とその解決策を提案・実施し、上司と共有できる	部署目標の立案に参画できる 部署目標達成のための課題を明確にし、実施計画に取り組みすることができる	部署目標を立案し、実践の指揮を取り、目標達成のための実績を積み上げることができる 実施計画の評価・修正が行える
	安全・感染	指導のもと医療安全管理マニュアル、感染対策マニュアルに沿って行動できる	自ら医療安全管理マニュアル、感染対策マニュアルに沿って行動できる	部署内の安全管理・感染対策推進のための行動ができる 多職種と安全・感染リスクの共有ができる	安全管理・感染対策のための環境を整え、適切な対応ができる 多職種に安全管理・感染対策の提案ができる	安全管理・感染対策のため、部署の課題を見つけ、対策を指導的態で実践することができる 他部署と連携し、安全管理・感染対策の計画・実施が行える	安全管理・感染対策のため他部署と調整を行い、適切な対応が行えているか評価できる
	災害対策	部署の災害対策を理解し、指導のもと行動に移すことができる	災害発生時に自らリーダーに協力し、メンバーとして行動できる	災害発生時にリーダーと協働し、避難誘導と救護ができる	災害発生時にリーダーシップが取れる 災害対策の提案ができる	災害発生時にリーダーシップが取れる 災害対策の提案ができる	災害発生時に、管理的立場でスタッフの支援指示ができる 災害対策の評価・修正ができる
	研究	自己の学習課題を見出すことができる 専門職業人として自覚することができる	院内外の研修を積極的に受けることができる	受けた研修を実践に生かし、常に自己の課題を見出すことができる	自己の看護実践を院内で発表できる	自己の看護実践を他者に伝え、学会等で発表できる	研究的視点で看護および日々の業務をとらえ解決できる
教育・研究	教育	学習の成果を自らの看護実践に活かすことができる	新人に生活・精神面での関わりをし、ともに学び成長できる	新人に対して知識・技術面の指導を行い、役割モデルとなることができる	新人の看護技術等の実地指導を行い、到達状況を評価できる	部署の教育計画を作成し、実施評価することができる	部署の人材育成プランを作成し管理することができる
	臨地実習	実習生を温かく受け入れることができる	実習生に対して原理原則に基づいた看護実践のモデルとなることができる	実習指導計画に基づいて実習生の指導ができる 実習生の役割モデルとなることができる	実習生の評価ができる	実習指導計画を作成できる	実習要綱に沿って実習生を受け入れることができる 実習指導をとおして部署の人材育成ができる